

幅広い世代が議場で発表した一日議会

浜田市議会の議会広報広聴委員会は、10人の委員が広報広聴に共同で取り組んでいる。2021年7月、議場で市民が意見を表明する「はまだ一日議会」を初めて開催した。応募者は、当初予定していた10人を上回る18人(発表者は17人)。予定の間を拡大して開催した。

こうした市民参加は先例があり、同じ時期に御嵩町議会(岐阜県)も実施しているが、浜田市議会は次のような周知活動を行っている。

- ① 議会だよりにチラシを折り込み、全戸配布、② 公共施設へのチラシ配布とポスター掲示、③ ケーブルテレビでのPR、④ 公用車への周知ステッカー貼り付け、⑤ 教育機関(小中高等)へのチラシ配布

若い世代向けのチラシは一般向けよりやわらかい表現にし、議員の協力で商業施設等への掲示も実施した。業界団体への周知は十分でなかったというが、予想を上回る発表者数は事前準備の賜物だろう。

市民意見は全員協議会で議論され、意見に対する理解を深め、共有するため研修会も開催した。意見を一般質問でフォローした議員もいる。議会は2022年度も一日議会を開催する計画である。

広報では年4回発行の議会だより



浜田市議会(島根県)

に加え、ウェブ版「はまだ議会だより mini」をサイトにアップしている。こちらは、印刷・配布はしない。閲覧数は伸び悩んでいるが、市民の知りたいニーズに答えていこうという意識が編集委員の間で共有されるようになってきたという。

また、毎号アンケートを実施し、市民意見を所管する委員会に振り分け、協議と回答を求めるなど議会ぐるみの活動が顕在化してきている。

小学校向けの一日議会への参加募集チラシ(画像提供:浜田市議会)

「はまだ一日議会」をレポートした議会だより(2021年9月号)